

自動車整備科・一級自動車工学科			2025年		授業計画	
時 期	2 年 D 巡	単 元	実 習	教科名	車両 5 （ T S 実技）	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	日産 3 / 4 級整備テキスト		発行日	2024年4月1日
			サーキットテスト			
総時限	3 3 時限		実習ノート		教科担当	石井
必要時限	3 3 時限					福田
指導教員の実務経験						
自動車整備士として、車両整備の実務経験がある教員により車両の分解、組立、構造、作動及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法等を指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①日産 T S 3 級実技試験に合格する。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
①日産 T S 3 級実技試験に合格する技術を身に付ける事が出来る。						
②パワーウィンドウシステムの故障原因探求が出来ようになる。						
③フロントブレーキの着脱、点検作業が出来ようになる。						
④コンサルトⅢPlas 使用時及び未使用時によるエンジンの故障原因探求が出来ようになる。						
⑤ブレーキの着脱、点検、調整が安全、確実に出来るようになる。						
⑥お客さま対応(整備結果説明)が出来ようになる。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1）履修試験での学習評価 各実技試験 1 0 0 点にて総合評価する。 整備科、S P M 科、工学科 各部門ごと 8 0 点以上で合格						
2）出題試験項目						
①コンサルトⅢPlas 使用時及び未使用時によるエンジンの故障原因探求。						
②フロントディスクブレーキの着脱、点検。						
③暗電流測定、パワーウィンドウシステムの故障原因探求。						
④整備結果説明。						
準備学習						
事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノート、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノート、テキストをもとに、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。						

